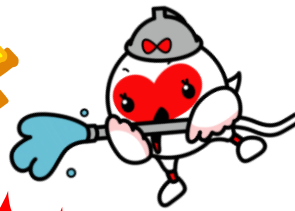




冬期間はストーブ火災が増加！

ストップ！ ストーブ火災



新潟県の住宅火災出火原因1位はストーブです！

- *住宅火災の約15%がストーブによる火災です。
- *ストーブの種類別では、石油ストーブによる火災が最も多く約7割を占めます。
- *衣類等の可燃物の落下や火を消さずに給油して引火するなど、不注意により火災につながるケースが多くなっています。

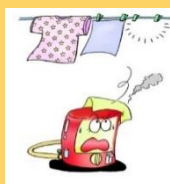
ストーブ火災を防ぎましょう！

★燃えやすい物は置かない



衣類や雑誌などが近くに置いてあると、ちょっとしたはずみでストーブに触れ出火するおそれがあります。スプレー缶等は、熱で缶が破裂し漏れたガスに引火することがあります。

★洗濯物は干さない



ストーブの上や近くに洗濯物を干すと、ストーブに触れ火災になるおそれがあります。また、カーテンのそばでの使用も同様に火災になるおそれがあります。

★給油時には必ず消火



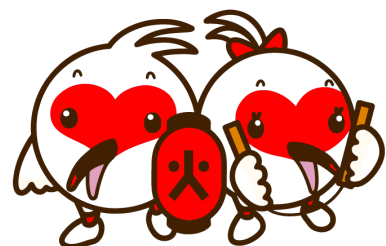
給油時に、カートリッジタンクの閉め忘れやキャップの緩み等で灯油が漏れてしまうと引火するおそれがあります。※

★火を消す習慣を！

寝るときやその場を離れるときには、火を消しましょう。寝返り等で布団がストーブに触れ、火災になるおそれがあります。ストーブ火災に限らず、火の元の確認や消火は火災予防の基本です。

※ 現在販売されている石油ストーブには、口金の安全が強化されたカートリッジタンクや給油時の自動消火機能など安全装置が装着されています。安全装置付きストーブへの買い替えもオススメします。

【お問い合わせ先】
村上市消防本部予防課（電話：0254-53-7222）

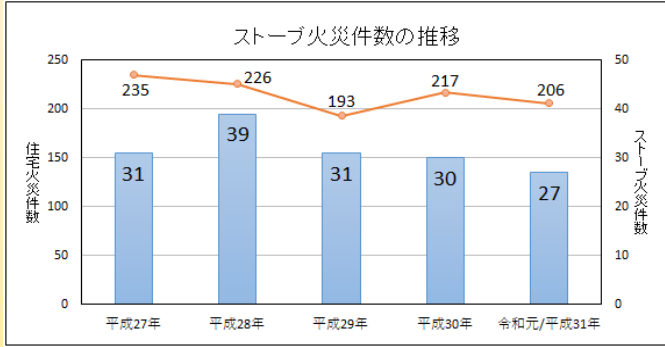


裏面もご覧ください

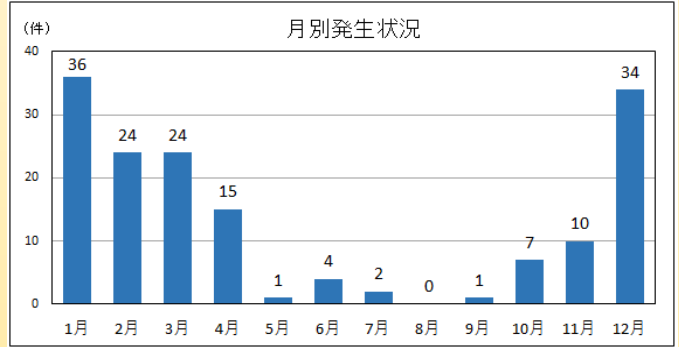
ストーブ火災発生件数

(平成27年～令和元年の5年間に県内で発生した火災を分析)

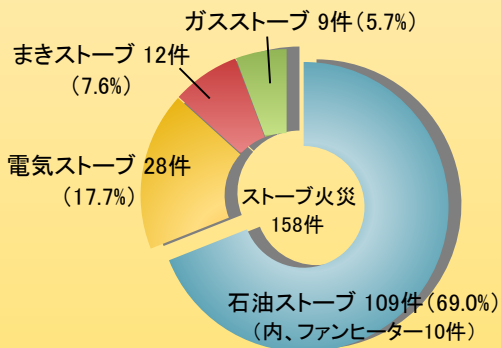
○ 住宅火災におけるストーブ火災は158件で、14.7%を占める
(5年累計)



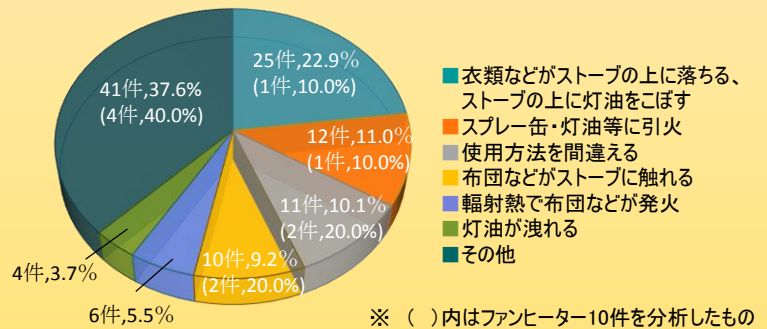
○ 11月から4月にかけて 9割以上が発生



○ 158件のうち、約7割(109件)が石油ストーブによる火災



○ 石油ストーブの出火原因のほとんどが不注意によるもの
(109件を分析)



ストーブの注意事項チェックリスト

- ストーブの上に洗濯物を干さない
- カーテンや家具の近くにストーブを置かない
- ストーブの周りに紙類や衣類、布団など置かない
- ストーブ近くにスプレー缶やカセットボンベを置かない
- ストーブを消火してから給油する
- カートリッジタンクのキャップは確実に締める
- 寝るときや外出時は消火する

ストーブを正しく使って
安全に過ごしましょう！

